

医師不足対策専門委員会

(平成 27 年度)

医師不足対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 医師不足対策専門委員会

委員長 河野 修興

I. はじめに

本委員会は、平成 26 年度に続き、平成 29 年度から開始が予定されている、新専門医制度の実施に向け、特に基幹施設が多く、綿密な調整が必要と考えられる内科の新専門医制度に係る広島県の対応について、先行して検討・協議を行った。

II. 新専門医制度に係る課題および国の動向

新たな専門医制度は、すべての基本診療領域（18 領域に総合診療科を加えた 19 領域）について、平成 26 年 5 月に設立された、一般社団法人日本専門医機構が一括して認定を行おうとするもので、主たる目的は、専門医の質の向上にあり、制度の検討などに当たっては、「プロフェッショナルオートノミー」（専門家の自律性）の理念の下で、当事者の主体性に基づいて準備が進められてきた。

しかしながら、医療関係団体から、新専門医制度の実施により医師の地域偏在を悪化させるなど、地域医療に悪影響を及ぼすおそれがあるなどの懸念の声が上がっていた。

このため、国は、関係者のコンセンサスを得る場として、国の社会保障審議会内に、「専門医養成の在り方に関する専門委員会」を設置したが、新専門医制度の導入により医師偏在が助長されるなどの意見が多数を占めている状況である。

こうした状況を踏まえ、国は、都道府県に対し、関係者（大学・主な基幹施設・連携施設、医師会、病院団体、行政、日本専門医機構など）と連携し、必要な情報共有、検証、調整などを図るよう求めている。

III. 協議内容

1) 第 1 回会議（平成 28 年 1 月 20 日開催）

各関係医療機関に対し、事前照会を行い、県内で

内科専門研修プログラム作成を予定していると回答した 15 医療機関に会議への出席を依頼した。

各施設に対し、その時点でのプログラム作成状況と連携・特別連携を予定している施設、受入内科専攻医数について説明を求め、意見交換を行った。

最後に、中西敏夫広島県医師会常任理事と河野から、現状より地域医療体制を悪化させないように、プログラム作成において配慮するとともに、今後も新専門医制度に関して情報共有するよう協力依頼がなされた。

2) 第 2 回会議（平成 28 年 2 月 15 日開催）

第 1 回会議参加の医療機関のうち、引き続き新専門医のプログラム作成を予定している 14 医療機関に加え、広島大学の各内科医局に出席を求めた。

プログラム作成について、より具体的な検討を行うとともに、第 1 回会議の議論を踏まえ、特に受入専攻医数について、広島県で毎年養成している内科専門医の実績に照らし合わせながら、活発な意見交換がなされた。

また、広島県に内科の専攻医を呼び込むためには、ホームページなどを活用し、「オール広島県」で取り組んでいることを県内外にアピールする必要があるとの意見が出された。

3) 第 3 回会議（平成 28 年 3 月 28 日開催）

第 3 回会議においては、日本専門医機構にプログラムを申請する前の最終調整を行った。広島県から、基幹施設に対し、プログラム申請前の時点で、連携施設・特別連携施設になっていない施設についても、今後可能な限り、連携施設あるいは特別連携施設に追加するなど、引き続き、地域医療に配慮するよう依頼された。

最後に、広島県が、国から方針が出された、「専門研修プログラム認定までの調整方針」について説明した。当該調整方針によると、平成 27 年 6 月までに、すべての調整が終了後、プログラムの認定前に、

基幹施設・連携施設をはじめとして、関係者の合意を協議会で確認後、厚生労働省に報告することが予定されている。

Ⅳ. ま と め

広島県では、現時点において、これまで内科の後期研修医（卒後3～5年目の医師。新専門医制度では専攻医。）を派遣してきた医療機関が、ほぼ連携施設または特別連携施設となっており、新内科専門医制度の開始による地域医療への影響は小さいと思われるが、全国的に専攻医の募集定員の調整（制限）が実施されない場合、都市部に専攻医が集中し、その

結果、広島県の内科専攻医が減少し、地域に専攻医を十分に派遣できないおそれがある。

こうしたことから、引き続き、新専門医制度の動向に注視しながら、関係機関と情報共有や協議を続ける必要がある。

また、地域医療への影響を最小限にするためには、広島県にできるだけ多くの内科専攻医を呼び込む必要がある。

このため、大学や基幹施設などの関係機関が連携し、「オール広島県」で取り組んでいることを、ホームページなどを活用し、県内外に積極的に広報していく必要がある。

広島県地域保健対策協議会 医師不足対策専門委員会

委員長	河野 修興	広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子内科学
委員	伊藤 公訓	広島大学病院消化器代謝内科
	菊間 秀樹	広島県健康福祉局
	桑原 正雄	広島県医師会
	坂口 孝作	福山市民病院
	坂上 隆士	広島県健康福祉局医療政策課
	白石 一行	広島市健康福祉局保健医療課
	末廣 真一	公立世羅中央病院
	竹内 啓祐	広島大学医学部地域医療システム学
	武澤 巖	安芸太田病院
	高橋 忠照	東広島医療センター統括診療部
	徳毛 宏則	JA 広島総合病院
	豊田 秀三	広島県医師会
	中西 敏夫	広島県医師会
	橋本 康男	広島県地域保健医療推進機構地域医療推進部
	服部 登	広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子内科学
	檜谷 義美	広島県医師会
	古川 正愛	広島県地域保健医療推進機構地域医療推進部
	古川 善也	広島赤十字・原爆病院
	水之江知哉	呉医療センター臨床研修部
	山崎 正数	広島県医師会
	山田 博康	広島県医師会
	山本 秀也	広島大学病院循環器内科